

参考資料

(第42回介護給付費分科会における宿題事項)

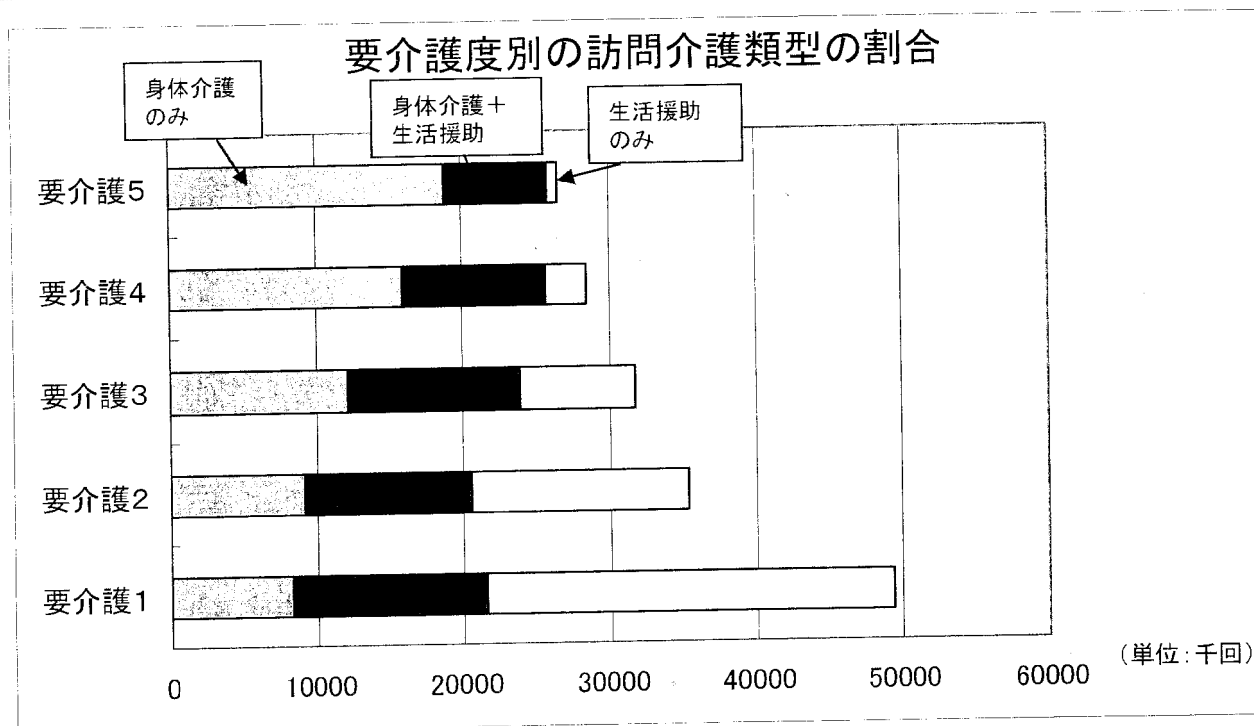
- | | |
|------------------------------|---------|
| 1. 訪問介護における身体介護と生活援助の割合 | 1 |
| 2. 認定者数に対する地域密着型サービス受給者数の割合 | 2 |
| 3. 認知症の日常生活自立度別のサービス利用状況 | 3 |
| 4. 特別養護老人ホームにおける看取り加算取得状況の推移 | 4 |

参考1. 訪問介護における 身体介護と生活援助の割合

内容類型別訪問介護回数

(単位：千回)

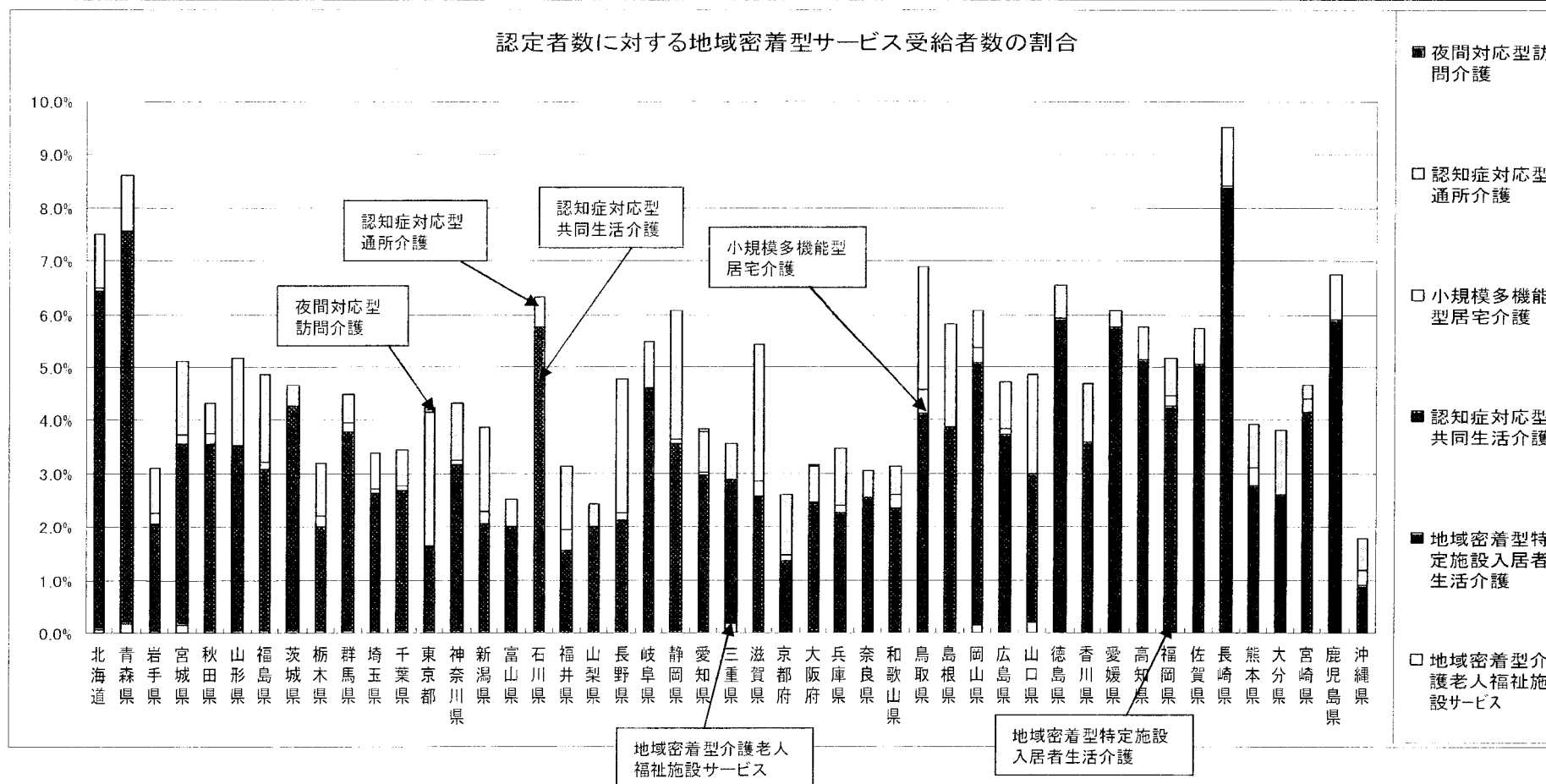
	身体介護のみ	身体介護＋生活援助	生活援助のみ
平成18年度合計 (構成比)	65 056 (36.1%)	54 087 (30.0%)	61 272 (34.0%)



※ 出典：介護給付費実態調査(平成18年4月～平成19年3月サービス分)

参考2. 認定者数に対する 地域密着型サービス受給者数の割合

○地域密着型サービスの受給状況については都道府県ごとに差があり、認定者数に対する受給者数の割合で、最大と最小の県で約5倍の差が見られる。

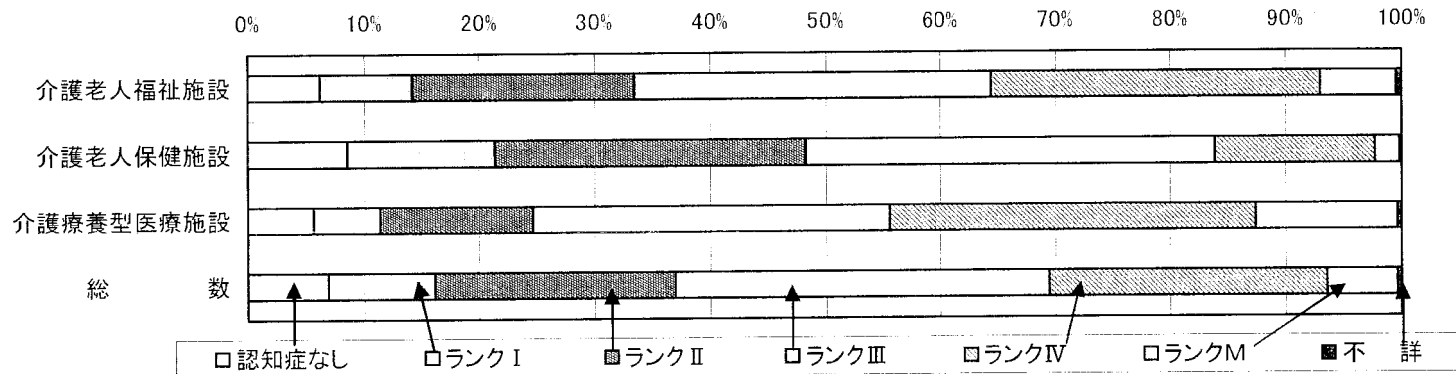


※ 出典:介護給付費実態調査(平成18年12月サービス分)

参考3. 認知症の日常生活自立度別のサービス利用状況

○認知症日常生活自立度別の在り者数を見ると、介護保険施設全体で、ランクⅡ以上の方が在り者の8割以上を占めている。

介護保険施設における認知症日常生活自立度別の在り者数



ランクⅠ
何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。

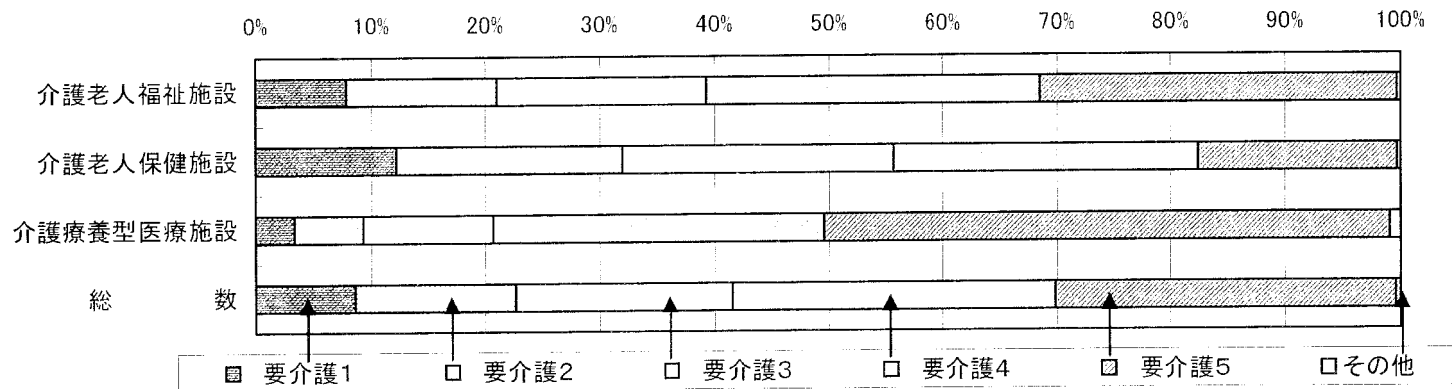
ランクⅡ
日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。

ランクⅢ
日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。

ランクⅣ
日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。

ランクⅤ
著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

(参考) 介護保険施設における要介護度別の在り者数



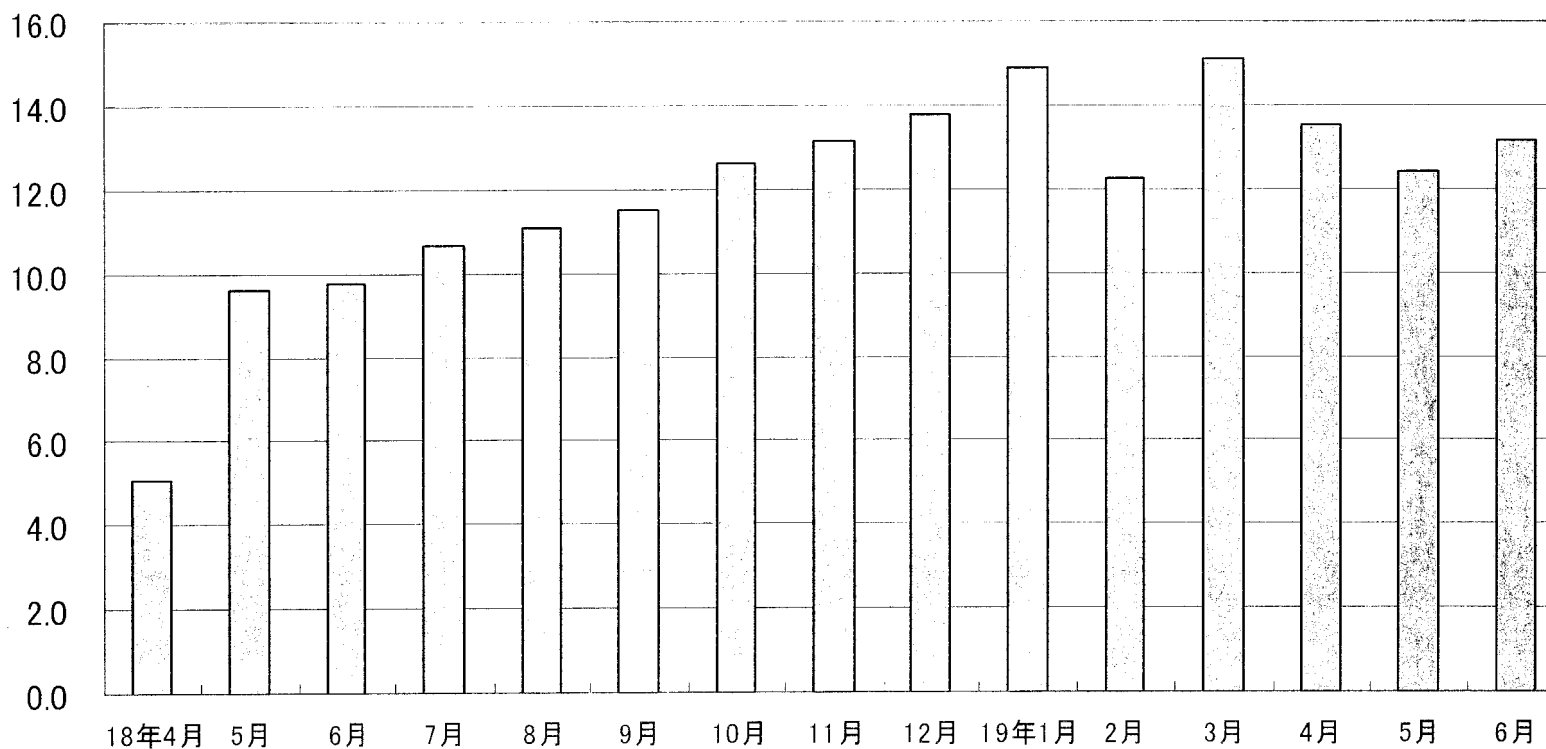
※ 出典: 介護サービス施設・事業所調査(平成15年)

参考4. 特別養護老人ホームにおける 看取り介護加算取得状況の推移

○特別養護老人ホームにおける看取り介護加算の取得日数は、加算創設以来、概ね増加傾向にある。

特別養護老人ホームにおける看取り介護加算取得日数の推移

(単位:千日)



※ 出典:介護給付費実態調査(平成18年4月～平成19年6月サービス分)